

ハートフォードの NEWアダージオSTB

ハートフォード生命保険株式会社の
変額個人年金保険Ⅱ型2003
〈自由選択コース〉

特別勘定の月次運用レポート 2012年4月末現在

- 市場概況
- 特別勘定の運用状況
- 組入投資信託の運用レポート



変額個人年金保険のリスクと手数料について

●変額個人年金保険は一時払保険料をファンドで運用します。ファンドの主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や資産残高・将来の年金額等の増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、資産残高、解約払戻金額は払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

- 変額個人年金保険は預金等ではなく、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
 - 受取総額が一時払保険料相当額を下回ること(元本割れリスク)があります。
 - 保険関係費用:ご契約の新規成立・維持等や死亡・災害死亡の保障等をするための費用です。運用期間中、資産残高に対して年率2.10%の割合で資産残高から毎日控除されます。
 - 運用関係費用:ファンドの運用にかかる費用です。主にファンドが投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対して最大で年率1.397%(税抜年率1.33%)程度の割合で信託財産から毎日控除されます。運用手法の変更等の理由により将来変更される可能性があります。
 - 年金管理費:年金支払の管理にかかる費用です。年金の受取期間中、年金額に対して1%の割合で責任準備金から年金受取時に控除されます。
 - 解約控除:ご契約日および増額日からその日を含めて7年未満の解約、一部解約(特別引出を除く)をした場合にかかります。ご契約日からの経過年数に応じて、解約控除対象額※の7%~1%の割合で解約日の資産残高または一部解約請求額から控除されます。
- ※解約控除対象額は、解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求額と一時払保険料相当額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。

*この商品にかかる費用の合計額は、「運用期間中の費用(「保険関係費用」「運用関係費用)」と「年金受取期間中の費用(「年金管理費)」」の合計額となります。また、特定のお客さまには「解約控除」がかかります。

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

[引受保険会社] ハートフォード生命保険株式会社

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

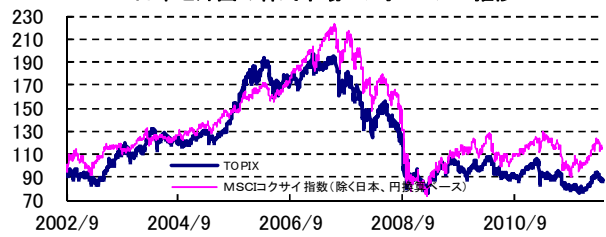
市場概況

代表的な指標の騰落率		1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	▲ 5.58%	8.16%	5.92%	▲ 3.34%	7.85%
	TOPIX(東証株価指数)	▲ 5.86%	6.49%	5.26%	▲ 5.59%	▲ 4.00%
日本債券	NOMURA-BPI	0.52%	0.69%	1.49%	3.07%	7.64%
外国株式	MSCIコクサイ指数(除く日本、円換算ベース)	▲ 1.80%	11.29%	8.23%	▲ 6.98%	24.00%
外国債券	シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	▲ 1.27%	6.95%	7.09%	1.16%	▲ 2.68%
外国為替	米ドル対円為替レート(仲値)	▲ 1.22%	6.30%	4.42%	▲ 1.08%	▲ 16.97%

日経平均株価(円)の推移

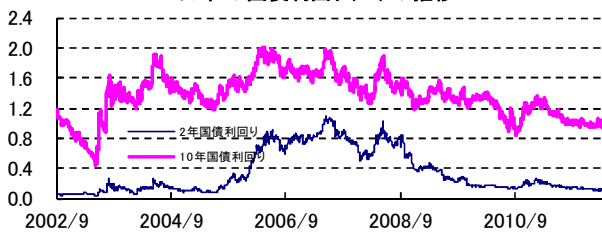


日本と外国の株式市場パフォーマンス推移

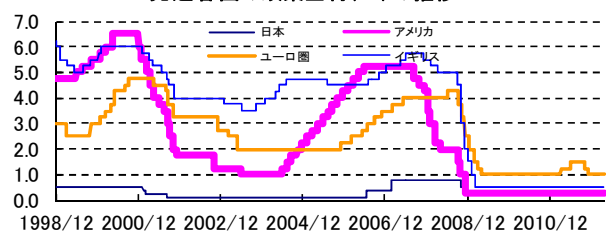


* 上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

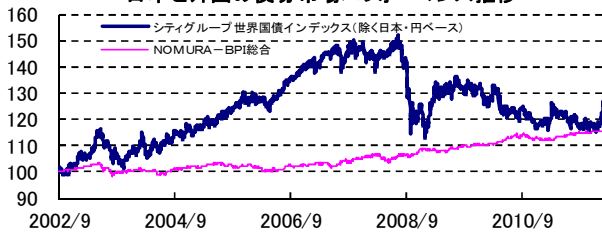
日本の国債利回り(%)の推移



先進各国の政策金利(%)の推移

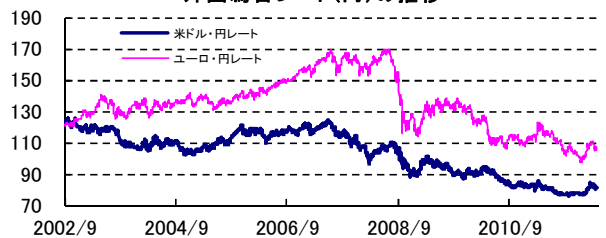


日本と外国の債券市場パフォーマンス推移



* 上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移



全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村証券株式会社によって計算、公表されている、野村証券株式会社の知的財産です。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。シティグループ世界国債インデックスとは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した債券指数で、世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均し、指数化したものです。

【日本株式市場】

4月の日経平均株価は、日本経済の先行きへの楽観的な見方が後退したことなどから、前半は大きく下落しました。その後も欧州債務問題への不安が広がったことによる投資家のリスク回避姿勢が強まったことを背景に下落基調が続き、前月末より563円安の9,520円で取引を終了しました。

【日本債券市場】

新発10年国債利回りは、序盤こそ上昇する局面も見られましたが、依然として欧州債務問題への不安が拭えていないことや市場が日銀による更なる金融緩和を期待していたことなどから、低下基調が続き、前月末比低下の0.8%台後半で月末をむかえました。

【外国株式市場】

NYダウは、雇用統計の結果などを受け軟調に推移しましたが、好調な企業業績に支えられ月末にかけて持ち直す動きがあり、前月末とほぼ同じ13,213ドルで取引を終了しました。独株式市場は、スペインを含む欧州各国の債務問題の再燃があり、前月末を下回り取引を終了しました。

【外国債券市場】

米10年国債利回りは、欧州債務問題だけではなく世界景気にも先行き不透明感が高まったことで月を通じて低下基調が続き、前月末を下回り月末をむかえました。独10年国債利回りは、欧州内での資金逃避先として選好される動きが強まり、前月末を下回り月末をむかえました。

【外国為替市場】

米ドルは、米国経済の先行きに対する楽観的な見方が後退したことなどから、円高基調が続き、前月末比円高の1ドル=81円台前半で月末をむかえました。ユーロは、欧州債務問題への不安感などから売られる動きが続き、前月末比円高の1ユーロ=107円台前半で月末をむかえました。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定(ファンド)グループ

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				主な投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)		資産合計 (百万円)
	株 式		債 券				投資信託	現預金 その他	
	日本	外国	日本	外国					
日本株式グロース ファンド ST	●				ジャパン・グロース・ ファンドVA1(愛称:得意技VA1)*	三井住友トラスト・アセット マネジメント株式会社	96.0%	4.0%	314
日本株式グロース ファンド FIE	●				フィデリティ・日本成長株・ ファンドVA5*	フィデリティ投信株式会社	96.1%	3.9%	14,829
日本株式バリュー ファンド ST	●				キャッシュフロー経営評価 オープンVA1(愛称:選球眼VA1)*	三井住友トラスト・アセット マネジメント株式会社	96.0%	4.0%	438
日本株式インデックス ファンド ST	●				日本株式インデックス・ オープンVA1*	三井住友トラスト・アセット マネジメント株式会社	96.0%	4.0%	2,132
世界株式ファンド FIE	●	●			フィデリティ・グローバル・ ファンドVA5*	フィデリティ投信株式会社	98.2%	1.8%	711
外国株式インデックス ファンド ST		●			外国株式インデックス・ オープンVA1*	三井住友トラスト・アセット マネジメント株式会社	98.0%	2.0%	482
外国債券インデックス ファンド ST				●	外国債券インデックス・ オープンVA1*	三井住友トラスト・アセット マネジメント株式会社	98.0%	2.0%	957
世界バランスファンド (成長) ST	●	●	●	●	マイセクション50VA1*	三井住友トラスト・アセット マネジメント株式会社	98.0%	2.0%	1,147
世界バランスファンド (積極) ST	●	●	●	●	マイセクション75VA1*	三井住友トラスト・アセット マネジメント株式会社	98.0%	2.0%	396
世界バランスファンド PT	●	●	●	●	ピクテ・グローバル・バランス・ オープンVA-C*	ピクテ投信投資顧問 株式会社	98.0%	2.0%	1,303
マネーファンド MB				●	三菱UFJ MRF (マネー・リザーブ・ファンド)	三菱UFJ投信株式会社	95.0%	5.0%	2,005

* 適格機関投資家専用設定される投資信託です。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定(ファンド)グループ

投資信託の運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針
ジャパン・グロース・ファンドVA1(愛称:得意技VA1)*	主に日本の上場株式に投資し、独自の調査に基づき企業の成長性を重視し銘柄を選定することによって、TOPIX(東証株価指数)を長期的に上回る運用成果の獲得を目指します。
フィデリティ・日本成長株・ファンドVA5*	成長企業の株式に投資することにより、TOPIX(東証株価指数)を上回る投資成果を目指します。市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業を独自の個別企業分析により選定し投資を行います。
キャッシュフロー経営評価オープンVA1(愛称:選球眼VA1)*	主に日本の上場株式に投資し、企業本来の投資価値に比べ現在の株価が割安と判断される銘柄を選定することによって、TOPIX(東証株価指数)を長期的に上回る運用成果の獲得を目指します。
日本株式インデックス・オープンVA1*	主に日本の上場株式に投資し、システム化された運用手法をとるなど、長期的な投資効率を向上させ、TOPIX(東証株価指数)に連動する投資成果の獲得を目指します。
フィデリティ・グローバル・ファンドVA5*	市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業に投資し、世界株式市場の代表的指数であるMSCIワールド(円ベース)を中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。
外国株式インデックス・オープンVA1*	主に先進各国の上場株式に投資し、システム化された運用手法で、世界株式市場の代表的指数であるMSCI コクサイ インデックス(除く日本 円ベース)に連動する投資成果の獲得を目指します。
外国債券インデックス・オープンVA1*	主に先進各国の公社債に投資し、シティグループ世界国債インデックス(除く日本 円ベース)に連動する投資成果の獲得を目指します。
マイセクション50VA1*	主に日本を含む世界各国の株式と公社債、および円短期金融商品に分散投資し(基本資産配分:株式50%、債券45%、短期金融資産5%)、信託財産の安定運用を目指します。
マイセクション75VA1*	主に日本を含む世界各国の株式と公社債、および円短期金融商品に分散投資し(基本資産配分:株式75%、債券22%、短期金融資産3%)、信託財産の安定運用を目指します。
ピクテ・グローバル・バランス・オープンVA-C*	主に日本を含む先進各国の株式および公社債に分散投資(基本資産配分:株式50%、債券50%)することによって中長期的信託財産の安定的な成長を目指します。収益性と安定性をバランスよく追求します。
三菱UFJ MRF (マネー・リザーブ・ファンド)	内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保を目指します。投資対象とする有価証券は信用度が高く、残存期間が短いものとします。外貨建資産への投資については、円貨で約定・決済するもの(為替リスクの生じないもの)に限ります。

* 適格機関投資家専用設定される投資信託です。

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

日本株式グロースファンド ST



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-5.41%	6.59%	5.30%	-8.93%	-3.01%	-28.76%

日本株式グロースファンド FIE



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-4.93%	6.94%	3.66%	-8.55%	0.33%	-29.34%

日本株式バリューファンド ST



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-7.01%	7.26%	7.25%	-3.10%	3.65%	-31.12%

日本株式インデックスファンド ST



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-5.81%	6.70%	4.90%	-5.76%	-5.51%	-35.14%

世界株式ファンド FIE



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-1.94%	12.29%	8.41%	-7.10%	27.25%	2.40%

外国株式インデックスファンド ST



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-1.97%	10.87%	7.99%	-7.53%	21.43%	-6.63%

※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

外国債券インデックスファンド ST



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-1.29%	6.40%	3.66%	-1.20%	-10.78%	-9.07%

世界バランスファンド(成長) ST



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-2.38%	4.41%	3.24%	-2.94%	1.73%	-11.79%

世界バランスファンド(積極) ST



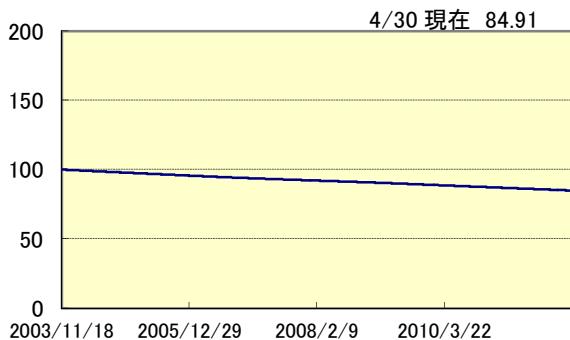
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-3.58%	6.45%	4.63%	-4.51%	2.89%	-25.61%

世界バランスファンド PT



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-1.05%	7.47%	4.48%	-4.68%	1.32%	-7.79%

マネーファンド MB



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-0.16%	-0.48%	-0.99%	-2.00%	-5.83%	-15.09%

※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。

- 当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- 特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- 各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式グロースファンド ST

【特別勘定が投資する投資信託】

ジャパン・グロース・ファンドVA1 (適格機関投資家専用)

(愛称: 得意技 VA1)

【運用会社】

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本の上場株式。主に「ジャパン・グロース マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

※合併により、マザーファンド名称が変更となっております。旧マザーファンド名は「住信 ジャパン・グロース マザーファンド」です。

運用方針

主に日本の上場株式に投資し、短期的な市場動向に左右されず、独自の調査にもとづいたファンダメンタル重視の投資を行うことで、将来の資産価値極大化をめざした中長期的な視点からの運用を行うことを基本とします。

※平成24年4月1日より、特別勘定が投資する投資信託名・運用会社名が変更となりました。

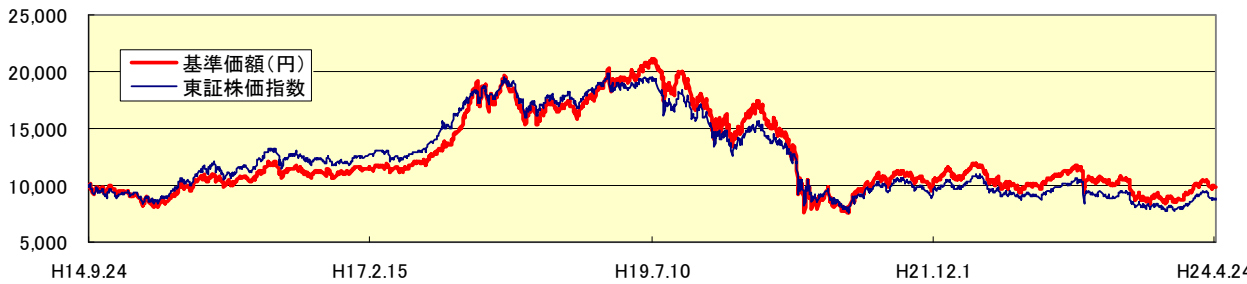
旧投資信託名: 住信 ジャパン・グロース・ファンドVA1 (適格機関投資家専用)、旧運用会社名: 住信アセットマネジメント株式会社

平成24年4月27日現在

1. ファンドの運用経過

※ 東証株価指数 (TOPIX) は当ファンドのベンチマークではありません。

① 基準価額推移グラフ(東証株価指数(TOPIX)は当初設定日を10,000として指数化。データは設定日から基準日までを表示。)



② 当月末基準価額

基準価額	9,796 円	既払分配金 (課税前)	0 円	純資産総額	305 百万円
------	---------	-------------	-----	-------	---------

③ 騰落率

(単位: %)

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
当ファンド	-5.48	7.40	6.58	-7.47	3.05	-2.04
東証株価指数(TOPIX)	-5.86	6.49	5.26	-5.59	-4.00	-12.20

2. 月末のポートフォリオの状況

① 資産別構成比 (純資産比率(%))

マザーファンド	99.99
短期金融資産等	0.01
合計	100.00

【市場別株式組入状況】

(マザーファンド) (単位: %)

	銘柄数	比率
東証一部	77	96.16
東証二部	1	0.56
東証マザーズ	0	0.00
JASDAQ	2	0.61
その他の市場	1	0.31
株式合計	81	97.64
短期金融資産等	-	0.27
株式先物取引	-	2.10

比率は純資産比率

② 組入上位10銘柄(マザーファンド)

(単位: %)

	銘柄名	業種	比率
1	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.38
2	アイシン精機	輸送用機器	3.34
3	クボタ	機械	3.26
4	小松製作所	機械	3.18
5	三井物産	卸売業	3.15
6	三菱電機	電気機器	2.93
7	三菱商事	卸売業	2.75
8	東レ	繊維製品	2.50
9	トヨタ自動車	輸送用機器	2.48
10	ディスコ	機械	2.32

比率は純資産比率

③ 組入上位10業種

(マザーファンド) (単位: %)

	業種	比率
1	機械	18.45
2	輸送用機器	11.52
3	電気機器	10.11
4	化学	9.99
5	卸売業	8.45
6	銀行業	4.84
7	小売業	3.82
8	非鉄金属	3.81
9	ガラス・土石製品	3.16
10	建設業	2.91

比率は株式資産比率

東証33業種分類

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式グロースファンド ST

【特別勘定が投資する投資信託】

ジャパン・グロース・ファンドVA1(適格機関投資家専用)
(愛称:得意技 VA1)
【運用会社】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本の上場株式。主に「ジャパン・グロース マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

主に日本の上場株式に投資し、短期的な市場動向に左右されず、独自の調査にもとづいたファンダメンタル重視の投資を行うことで、将来の資産価値極大化をめざした中長期的な視点からの運用を行うことを基本とします。

3. ファンドマネージャーのコメント

【投資実績】

基本的なポートフォリオ構成に変化はありませんが、銘柄分散を考慮し、割安感のある鹿島建設、東日本旅客鉄道、大和ハウス工業等を買付けました。
一方、他の銘柄への入れ換えのため、日本碍子、エヌ・ティ・ティ・ドコモ等を一部売却をしました。

【市場の見通し】

当月の日本株式相場は、世界的に金融市場で欧州財政懸念が再び強まった影響を受けて上旬は下落基調となりましたが、中旬以降は日本企業の3月期決算発表を前に様子見ムードが高まり横ばい基調となりました。現在、決算発表が逐次行われていますが、企業業績は回復基調にあり、各種指標からも日本株の割安感が増しています。欧州財政問題等の金融市場における懸念が後退すれば、調整気味であった日本の株式相場も徐々に回復上昇に向かうものと思われれます。

【今後の運用方針】

当ファンドにおいては海外展開等により市場を開拓できる成長企業で、ROE(自己資本利益率)が高く収益体質が強固な企業を主体にポートフォリオを構築しております。これらの企業は、世界景気の循環的な変動の影響を受けて、株価が騰落することはありますが、中長期的な成長力に変化は無く、今後の当ファンドのパフォーマンスに寄与すると考えております。また、将来を見据えたりサーチ活動を通じて新たな成長銘柄の発掘にも注力していきます。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式グロースファンド FIE

【特別勘定が投資する投資信託】

フィデリティ・日本成長株・ファンドVA5(適格機関投資家専用)

【運用会社】

フィデリティ投信株式会社

主要投資対象

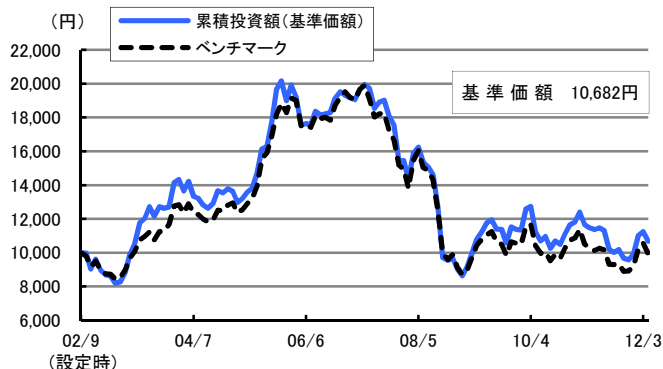
日本の上場株式。主にフィデリティ・日本成長株・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

成長企業の株式に投資することにより、TOPIX(東証株価指数)を上回る投資成果を目指します。市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業を独自の個別企業分析により選定し投資を行い、信託財産の成長を目指します。

設定来の運用実績

(2012年4月27日現在)



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

累積リターン

(2012年4月27日現在)

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-4.96%	7.77%	4.90%	-6.90%	6.92%	6.82%
ベンチマーク	-5.86%	7.66%	6.54%	-3.36%	1.97%	-0.53%

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。

※ベンチマーク: TOPIX(配当金込)

過去5期分の収益分配金(1万口当たり/税込)

第6期(2007.11.30)	0円
第7期(2008.12.01)	0円
第8期(2009.11.30)	0円
第9期(2010.11.30)	0円
第10期(2011.11.30)	0円

純資産総額

142.6 億円

(2012年4月27日現在)

コメント

(2012年4月27日現在)

4月の東京株式市場は、上旬に調整した後、月末まで狭いレンジでもみ合う展開が続きました。月初めに公表された米連邦公開市場委員会(FOMC)の議事要旨を受けて追加の金融緩和観測が後退したことなどから日本株は急落、スペイン国債入札の不調をきっかけに欧州債務問題が改めて意識されたほか、3月の米非農業部門雇用者数が市場の予想ほど伸びなかったことも嫌気され、円高修正の動きが一服する中、下落基調を辿りました。中旬に入ると、日銀が月末の金融政策決定会合で追加の金融緩和に踏み切るとの観測や、日本企業の新年度業績に対する期待などが相場を下支えたものの、中国景気の減速懸念やスペイン国債入札に対する警戒感などが重しとなり、もみ合いとなりました。相場の膠着感が強まる中、月末最終日には日銀が追加金融緩和策を発表、場中に株価が急騰する場面もありましたが一時的なものにとどまりました。月間の騰落率は、TOPIX(配当金込)が▲5.86%、日経平均株価は▲5.58%となりました。

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。

組入上位10銘柄

(マザーファンド・ベース)

(2012年3月30日現在)

	銘柄	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.6%
2	本田技研工業	輸送用機器	3.5%
3	ミスミグループ本社	卸売業	3.3%
4	オリックス	その他金融業	2.9%
5	任天堂	その他製品	2.2%
6	マキタ	機械	2.1%
7	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.1%
8	日立金属	鉄鋼	1.9%
9	シノ	輸送用機器	1.9%
10	大和工業	鉄鋼	1.9%

(組入銘柄数: 200)

上位10銘柄合計 25.5%

※「フィデリティ・円キャッシュ・ファンド(適格機関投資家専用)」は、(対純資産総額比率)組入上位10銘柄の対象から除いています。

ポートフォリオの状況

(マザーファンド・ベース)

(2012年3月30日現在)

資産別組入状況

株式	95.7%
新株予約権証券(ワント)	-
投資信託・投資証券	0.2%
現金・その他※	4.1%

※「フィデリティ・円キャッシュ・ファンド

(適格機関投資家専用)」(3.1%)を含みます。

未払金等の発生により、「現金・その他」の数値が「フィデリティ・円キャッシュ・ファンド(適格機関投資家専用)」の数値を下回ることがあります。

市場別組入状況

東証1部	88.0%
東証2部	0.0%
ジャスダック	0.9%
その他市場	7.0%

組入上位5業種

電気機器	15.1%
輸送用機器	11.6%
卸売業	7.5%
銀行業	6.7%
機械	6.2%

(対純資産総額比率)

* 各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
 特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
 各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式バリューファンド ST

【特別勘定が投資する投資信託】

キャッシュフロー経営評価オープンVA1 (適格機関投資家専用)
(愛称: 選球眼 VA1)
【運用会社】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
【投資助言会社】
三井住友信託銀行株式会社

主要投資対象

日本の上場株式。主に「キャッシュフロー経営評価 マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。
※合併により、マザーファンド名称が変更となっております。旧マザーファンド名は「住信 キャッシュフロー経営評価 マザーファンド」です。

運用方針

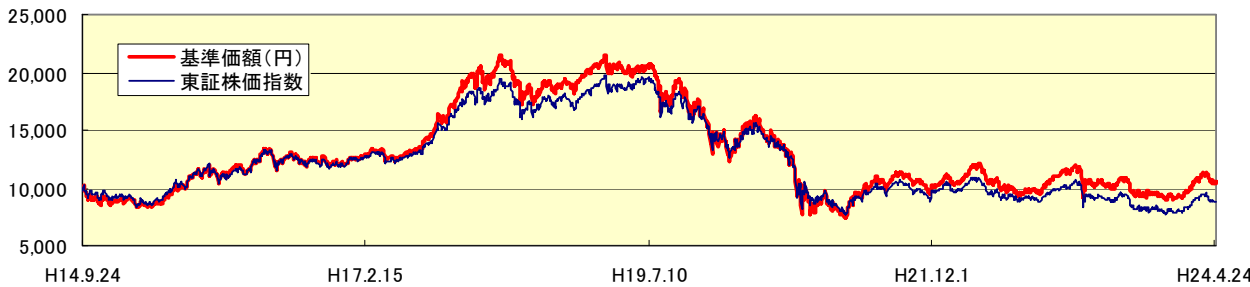
主に日本の上場株式に投資し、企業本来の投資価値に比べ現在の株価が割安と判断される銘柄を選定することによって、TOPIX(東証株価指数)を長期的に上回る運用成果の獲得を目指します。

※平成24年4月1日より、特別勘定が投資する投資信託名・運用会社名・投資助言会社名が変更となりました。
旧投資信託名: 住信 キャッシュフロー経営評価オープンVA1 (適格機関投資家専用)、旧運用会社名: 住信アセットマネジメント株式会社、旧投資助言会社名: 住友信託銀行株式会社

平成24年4月27日現在

1. ファンドの運用経過

① 基準価額推移グラフ(東証株価指数(TOPIX)は当初設定日を10,000として指数化。データは設定日から基準日までを表示。)



② 当月末基準価額

基準価額	10,416 円	既払分配金(課税前)	0 円	純資産総額	423 百万円
------	----------	------------	-----	-------	---------

③ 騰落率

(単位: %)

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
当ファンド	-7.12	8.08	8.64	-1.18	10.30	4.16
東証株価指数(TOPIX)	-5.86	6.49	5.26	-5.59	-4.00	-12.20

2. 月末のポートフォリオの状況

① 資産別構成比(純資産比率(%))

マザーファンド	100.00
短期金融資産等	0.00
合計	100.00

【市場別株式組入状況】

(マザーファンド) (単位: %)

	銘柄数	比率
東証一部	68	95.30
東証二部	0	0.00
東証マザーズ	0	0.00
JASDAQ	1	0.97
その他の市場	0	0.00
株式合計	69	96.27
短期金融資産等	-	1.52
株式先物取引	-	2.21

比率は純資産比率

② 組入上位10銘柄 (マザーファンド)

(単位: %)

	銘柄名	業種	比率
1	本田技研工業	輸送用機器	3.04
2	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.01
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.79
4	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	2.50
5	ソニー	電気機器	2.50
6	日産自動車	輸送用機器	2.02
7	日本製紙グループ本社	パルプ・紙	2.00
8	いすゞ自動車	輸送用機器	1.98
9	東芝	電気機器	1.96
10	村田製作所	電気機器	1.94

比率は純資産比率

③ 組入上位10業種

(マザーファンド) (単位: %)

	業種	比率
1	電気機器	13.93
2	輸送用機器	12.49
3	機械	9.54
4	銀行業	8.63
5	小売業	5.73
6	建設業	5.59
7	不動産業	4.68
8	卸売業	4.56
9	化学	4.17
10	保険業	3.10

比率は株式資産比率

東証33業種分類

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式バリューファンド ST

【特別勘定が投資する投資信託】

キャッシュフロー経営評価オープンVA1 (適格機関投資家専用)
(愛称: 選球眼 VA1)

【運用会社】

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

【投資助言会社】

三井住友信託銀行株式会社

主要投資対象

日本の上場株式。主に「キャッシュフロー経営評価 マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

主に日本の上場株式に投資し、企業本来の投資価値に比べ現在の株価が割安と判断される銘柄を選定することによって、TOPIX(東証株価指数)を長期的に上回る運用成果の獲得を目指します。

3. ファンドマネージャーのコメント

【投資実績】

買いは、中国の旺盛な自動化投資意欲からロボット事業の拡大が見込まれる不二越、台湾の鴻海精密工業グループとの提携により液晶パネル事業挺入れの可能性が出てきたシャープ、震災復興需要の本格化にともなう小形棒鋼の数量拡大が予想される共英製鋼、ガラス磁気ディスク事業からの撤退など事業再構築による業績回復が期待される古河電気工業などです。

売りは、株価の上昇により割安感の薄れたパイオニア、沖電気工業、当初の想定と比べて業績回復に遅れがみられる新日鉄ソリューションズなどです。

【市場の見通し】

2011年末以来の株式市場の上昇に対して、3月半ばからは世界的にリスク回避傾向が強まり、為替相場の円高への反転もあって足下では調整を強めています。

リスク回避の背景には米国経済の改善傾向の鈍化や、欧州ソブリン債務問題の再燃などがあります。米国は雇用が予想どおりには増加せず、消費活動の先行きが懸念されています。欧州ではECB(欧州中央銀行)の大型流動性供給の心理効果が薄れると、スペインやイタリアの国債利回りが再上昇してきました。

これらは市場の先行きへの期待が高まりすぎた反動といえ、新たに悪い話が出てきたわけではありません。為替相場の反転も、日銀の金融緩和への大きすぎた期待が剥げ落ちたといえます。

国内外のファンダメンタルズは緩やかながら改善傾向にあります。企業業績も震災や洪水からの反動も手伝って、2012年度は二桁増益が期待できそうです。株式市場はどこかで落ち着きを取り戻し、再び上昇局面を迎えるとみています。

【今後の運用方針】

ファンドの特色である「割安+業績モメンタム」の観点からポートフォリオ構築を行います。

潜在的な収益力に比べて株価が割安に放置されている銘柄や、業績が底打ち・加速している銘柄をボトムアップで選別します。

当面は、経済の復興後に大きな業績回復が見込める企業などに注目しています。

株式組入比率は、高位を継続する方針です。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式インデックスファンド ST

【特別勘定が投資する投資信託】

日本株式インデックス・オープンVA1 (適格機関投資家専用)

【運用会社】

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

【投資助言会社】

三井住友信託銀行株式会社

主要投資対象

日本の上場株式。主に「国内株式インデックス マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

※合併により、マザーファンド名称が変更となっております。旧マザーファンド名は「住信 国内株式インデックス マザーファンド」です。

運用方針

主に日本の上場株式に投資し、システム化された運用手法をとるなど、長期的な投資効率を向上させ、TOPIX(東証株価指数)に連動する投資成果の獲得を目指します。

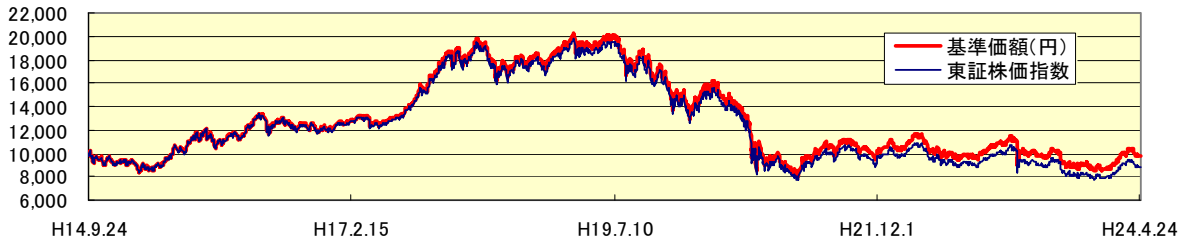
※平成24年4月1日より、特別勘定が投資する投資信託名・運用会社名・投資助言会社名が変更となりました。

旧投資信託名: すみしん 日本株式インデックス・オープンVA1 (適格機関投資家専用)、旧運用会社名: 住信アセットマネジメント株式会社、

旧投資助言会社名: 住友信託銀行株式会社

平成24年4月27日現在

① 基準価額推移グラフ(東証株価指数(TOPIX)は当初設定日を10,000として指数化。データは設定日から基準日までを表示。)



② 当月末基準価額

基準価額	9,709 円
既払分配金(課税前)	0 円
総資産総額	2,088 百万円

③ 資産構成比(対純資産、%)

マザーファンド	100.00
短期金融資産等	0.00
合計	100.00

【マザーファンドの資産構成比(対純資産、%)】

株式	97.91	銘柄数: 1,606
株式先物取引	1.94	
短期金融資産等	0.16	

④ 騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
当ファンド	-5.90	7.50	6.18	-3.99	0.48	-2.91
東証株価指数(TOPIX)	-5.86	6.49	5.26	-5.59	-4.00	-12.20
差	-0.04	1.01	0.92	1.59	4.48	9.29

⑤ 業種別組入比率(マザーファンド)

業種	ファンド	市場	差
水産・農林業	0.10	0.10	▲ 0.00
鉱業	0.74	0.74	0.00
建設業	2.36	2.36	0.00
食料品	3.74	3.74	0.00
繊維製品	0.94	0.94	▲ 0.00
パルプ・紙	0.37	0.37	0.00
化学	5.96	5.95	0.00
医薬品	4.78	4.78	0.00
石油・石炭製品	0.80	0.80	0.00
ゴム製品	0.80	0.80	0.00
ガラス・土石製品	1.09	1.09	0.00
鉄鋼	1.78	1.78	0.00
非鉄金属	1.19	1.19	▲ 0.00
金属製品	0.70	0.69	0.00
機械	5.17	5.17	0.00
電気機器	13.56	13.57	▲ 0.00
輸送用機器	10.71	10.71	0.00
精密機器	1.46	1.46	▲ 0.00
その他製品	1.53	1.53	0.00
電気・ガス業	2.94	2.94	▲ 0.00
陸運業	3.90	3.90	▲ 0.00
海運業	0.41	0.41	0.00
空運業	0.29	0.29	0.00
倉庫・運輸関連業	0.23	0.23	▲ 0.00
情報・通信業	6.27	6.27	0.00
卸売業	5.59	5.59	▲ 0.00
小売業	4.32	4.32	▲ 0.00
銀行業	9.51	9.50	0.00
証券・商品先物取引業	1.15	1.15	0.00
保険業	2.30	2.30	0.00
その他金融業	0.84	0.85	▲ 0.00
不動産業	2.53	2.53	▲ 0.01
サービス業	1.95	1.95	▲ 0.00
合計	100.00	100.00	-

ファンド: 株式資産に占める割合(%), 市場: 東証株価指数(TOPIX)構成比、業種: 東証33業種分類

⑥ 組入上位15銘柄(マザーファンド、対株式資産比)

銘柄名	業種	比率
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.90
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.63
3 本田技研工業	輸送用機器	2.23
4 キヤノン	電気機器	2.08
5 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.76
6 日本電信電話	情報・通信業	1.50
7 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.47
8 ファナック	電気機器	1.29
9 武田薬品工業	医薬品	1.25
10 三菱商事	卸売業	1.14
11 日立製作所	電気機器	1.07
12 小松製作所	機械	1.03
13 エヌ・ティ・ティ・ドコモ	情報・通信業	1.01
14 日本たばこ産業	食料品	1.00
15 ソフトバンク	情報・通信業	0.98

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
世界株式ファンド FIE

【特別勘定が投資する投資信託】
フィデリティ・グローバル・ファンドVA5 (適格機関投資家専用)
【運用会社】
フィデリティ投信株式会社

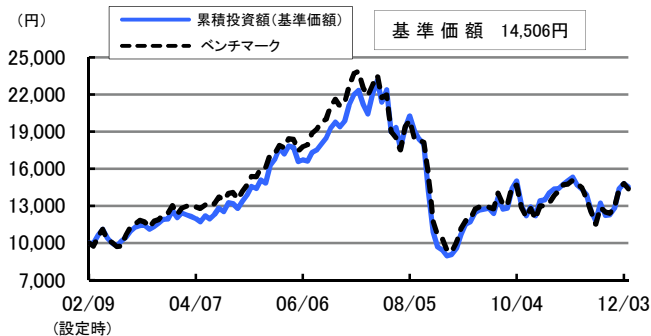
主要投資対象

日本を含む世界の株式。主にフィデリティ・グローバル・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業に投資し、世界株式市場の代表的指数であるMSCIワールド(円ベース)を中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。

設定来の運用実績 (2012年4月27日現在)



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

コメント (2012年4月27日現在)

世界株式相場は、MSCIワールド・インデックスの月間騰落率で▲1.46%。
【米国株】米国株式相場は、S&P500▲0.75%、ダウ工業株30種平均+0.01%、ナスダック指数▲1.46%。月初はISM製造業景況感指数が好調であったことから小高く推移。しかしその後、雇用統計で非農業部門雇用者数が予想を下回ったことやスペインの債務懸念が高まったことなどから下落に転じた。下旬には一部テクノロジー企業的好決算を受けて買い戻され、FOMC(米連邦公開市場委員会)で経済見通しが上方修正されたことなども好感された。
【欧州株】MSCIヨーロッパ・インデックスは▲2.29%。月初は米国の経済指標を受けて小高くなったものの、スペインの財政悪化懸念が広がり軟調な展開となった。その後、好調な企業決算などから一旦下支えされたが、フランス大統領選挙において野党候補が首位となったことなどから政局不安も広がり、乱高下を繰り返した。
【日本株】TOPIX(配当金込)は▲5.86%。欧州の財政不安などから軟調な展開。為替市場で円高が進行したことも重石となった。
【為替】当月のドル/円相場は、約3.07%の円高(1ドル=82.30円→79.85円)。ユーロ/円相場は、約3.70%の円高(1ユーロ=109.59円→105.68円)
(※文中の騰落率は表記の無い限り現地月末、現地通貨ベース、為替はWMOイター使用。)

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。また、為替相場等の影響により当ファンド、およびベンチマークの動向と異なる場合があります。

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-1.78%	13.14%	9.74%	-5.30%	35.99%	45.06%
ベンチマーク	-2.97%	11.37%	11.66%	-4.67%	28.86%	43.63%

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。
※ベンチマーク:MSCIワールド・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

第6期(2007.11.30)	0円
第7期(2008.12.01)	0円
第8期(2009.11.30)	0円
第9期(2010.11.30)	0円
第10期(2011.11.30)	0円

純資産総額	7.0 億円	(2012年4月27日現在)
-------	--------	----------------

順位	銘柄	国※	業種	比率
1	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.1%
2	CITIGROUP INC	アメリカ	各種金融	2.0%
3	GOOGLE INC CL A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.8%
4	CISCO SYSTEMS INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア及び機器	1.8%
5	SANOFI	フランス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.7%
6	CAPITAL ONE FINANCIAL CORP	アメリカ	各種金融	1.7%
7	CITRIX SYSTEMS	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.7%
8	HSBC HOLDINGS PLC (UK REG)	イギリス	銀行	1.7%
9	EBAY INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.6%
10	US BANCORP	アメリカ	銀行	1.6%

(組入銘柄数: 113) 上位10銘柄合計 17.6%
※発行体の国籍ベース (対純資産総額比率)

ポートフォリオの状況 (マザーファンド・ベース) (2012年3月30日現在)

株式(実質)	94.1%
うち現物	94.1%
うち先物	-
投資信託・投資証券	2.1%
現金・その他	3.8%

ソフトウェア・サービス	9.8%
エネルギー	9.7%
食品・飲料・タバコ	9.0%
資本財	7.5%
各種金融	7.2%

アメリカ	47.6%
イギリス	13.1%
日本	6.2%
インド	4.3%
スイス	4.3%

(対純資産総額比率)

* 各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。
* 業種はMSCI/S&P GICS※に準じて表示しています。

※MSCI/S&P GICSとは、スタンダード&アールズがMSCI Inc.と共同で作成した世界産業分類基準(Global Industry Classification Standard =GICS)です。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
* 特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
* 各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

外国株式インデックスファンド ST

【特別勘定が投資する投資信託】
 外国株式インデックス・オープンVA1 (適格機関投資家専用)
 【運用会社】
 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
 【投資助言会社】
 三井住友信託銀行株式会社

主要投資対象

日本を除く世界の株式。主に「外国株式インデックス マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。
 ※合併により、マザーファンド名称が変更となっております。旧マザーファンド名は「住信 外国株式インデックス マザーファンド」です。

運用方針

主に先進各国の上場株式に投資し、システム化された運用手法で、世界株式市場の代表的指数であるMSCIロクサイ・インデックス(除く日本 円ベース)に連動する投資成果の獲得を目指します。

※平成24年4月1日より、特別勘定が投資する投資信託名・運用会社名・投資助言会社名が変更となりました。
 旧投資信託名: すみしん 外国株式インデックス・オープンVA1 (適格機関投資家専用)、旧運用会社名: 住信アセットマネジメント株式会社、
 旧投資助言会社名: 住友信託銀行株式会社

平成24年4月27日現在

① 基準価額推移グラフ(インデックスは当初設定日を10,000として指数化。データは設定日から基準日までを表示。)



※インデックスはMSCIロクサイ・インデックス(除く日本、円ベース)

② 当月末基準価額

基準価額	13,272 円
既払分配金(課税前)	0 円
総資産総額	552 百万円

③ 資産構成比(対純資産、%)

マザーファンド	100.00
短期金融資産等	0.00
合計	100.00

【マザーファンドの資産構成比(対純資産、%)】

株式等	94.30	純資産	128,935 百万円
株式先物取引	5.84	銘柄数	1,291
短期金融資産等	-0.14		

※株式等の比率、銘柄数にはREITを含みます。

④ 騰落率

(単位: %)

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
当ファンド	-1.85	11.66	9.26	-5.90	29.86	32.72
インデックス	-2.36	10.73	10.52	-8.14	24.40	16.38
差	0.51	0.93	-1.26	2.25	5.47	16.34

⑤ 通貨別組入比率(マザーファンド)(円換算ベース)

(単位: %)

	通貨	ファンド
1	米国/ドル	58.71
2	ユーロ	12.53
3	英国/ポンド	10.57
4	カナダ/ドル	5.52
5	オーストラリア/ドル	4.14
6	スイス/フラン	3.90
7	スウェーデン/クローナ	1.34

	通貨	ファンド
8	香港/ドル	1.26
9	シンガポール/ドル	0.78
10	デンマーク/クローネ	0.51
11	ノルウェー/クローネ	0.41
12	イスラエル/シケル	0.29
13	ニュージーランド/ドル	0.06

※株式資産(先物込み)に占める割合

⑥ 組入上位10銘柄(マザーファンド、対株式資産比)(円換算ベース)

(単位: %)

	銘柄名	国名	比率
1	APPLE INC	アメリカ	2.52
2	EXXON MOBIL	アメリカ	1.84
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	1.09
4	INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	1.08
5	CHEVRON CORP	アメリカ	0.94
6	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	0.92
7	NESTLE SA - REGISTERED	スイス	0.90
8	AT&T INC	アメリカ	0.87
9	PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	0.82
10	PFIZER	アメリカ	0.79

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
 ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
 ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
 したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

外国債券インデックスファンド ST

【特別勘定が投資する投資信託】
外国債券インデックス・オープンVA1 (適格機関投資家専用)
【運用会社】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
【投資助言会社】
三井住友信託銀行株式会社

主要投資対象

日本を除く世界の債券。主に「外国債券インデックス マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。
※合併により、マザーファンド名称が変更となっております。旧マザーファンド名は「住信 外国債券インデックス マザーファンド」です。

運用方針

主に先進各国の公社債に投資し、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)に連動する投資成果の獲得を目指します。

※平成24年4月1日より、特別勘定が投資する投資信託名・運用会社名・投資助言会社名が変更となりました。
旧投資信託名: すみしん 外国債券インデックス・オープンVA1 (適格機関投資家専用)、旧運用会社名: 住信アセットマネジメント株式会社、
旧投資助言会社名: 住友信託銀行株式会社

平成24年4月27日現在

① 基準価額推移グラフ(インデックスは当初設定日を10,000として指数化。データは設定日から基準日までを表示。)



※インデックスはシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

② 当月末基準価額

基準価額	11,757 円
既払分配金(課税前)	0 円
総資産総額	1,052 百万円

③ 資産構成比(対純資産、%)

マザーファンド	100.00
短期金融資産等	0.00
合計	100.00

【マザーファンドの資産構成比(対純資産(円換算ベース)、%)】

債券	99.72	純資産総額
短期金融資産等	0.28	205,577 百万円
		銘柄数: 492

④ 騰落率

(単位: %)

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
当ファンド	-1.14	7.07	4.82	0.91	-5.16	17.57
インデックス	-1.27	6.95	7.09	1.16	-2.68	24.46
差	0.13	0.11	-2.26	-0.25	-2.48	-6.89

⑤ 通貨別組入比率(マザーファンド、対純資産比(円換算ベース))

(単位: %)

	通貨	比率
1	米国 / ドル	41.17
2	ユーロ	41.05
3	英国 / ポンド	8.09
4	カナダ / ドル	2.93
5	オーストラリア / ドル	1.54
6	メキシコ / ペソ	0.93
7	デンマーク / クローネ	0.89
8	ポーランド / ズロチ	0.79

	通貨	比率
9	スウェーデン / クローナ	0.61
10	マレーシア / リンギット	0.54
11	シンガポール / ドル	0.42
12	スイス / フラン	0.39
13	ノルウェー / クローネ	0.35
	日本円(短期金融資産等)	0.28
	合計	100.00

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド(成長) ST

【特別勘定が投資する投資信託】
 マイセレクション50VA1 (適格機関投資家専用)
 【運用会社】
 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
 【投資助言会社】
 三井住友信託銀行株式会社

主要投資対象

国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、および短期金融資産。主に「国内株式インデックス マザーファンド」、「国内債券インデックス マザーファンド」、「外国株式インデックス マザーファンド」、「外国債券インデックス マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

主に日本を含む世界各国の株式と公社債、および円短期金融商品に分散投資し(基本資産配分:株式50%、債券45%、短期金融資産5%)、信託財産の安定運用を目指します。

※平成24年4月1日より、特別勘定が投資する投資信託名・運用会社名・投資助言会社名が変更となりました。

旧投資信託名: すみしん マイセレクション50VA1 (適格機関投資家専用)、旧運用会社名: 住信アセットマネジメント株式会社、旧投資助言会社名: 住友信託銀行株式会社

平成24年4月27日現在

①当月末基準価額

基準価額	既払分配金(課税前)	純資産総額
11,834 円	0 円	1,628 百万円

②当ファンドの運用状況



(単位: %)

【騰落率】	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
当ファンド	-2.26	5.00	4.37	-0.91	8.47	18.34
参考指数	-2.26	4.61	4.56	-1.53	6.35	10.80
差	0.00	0.39	-0.19	0.62	2.12	7.54

【資産構成比と基準価額貢献度(月次)】

(単位: %)

資産	月末時価 構成比	基本 資産配分	差	基準価額 騰落貢献度
国内株式	34.4	35.0	-0.6	-2.05
国内債券	40.6	40.0	0.6	0.21
外国株式	15.2	15.0	0.2	-0.27
外国債券	5.0	5.0	0.0	-0.05
その他	4.8	5.0	-0.2	-0.10
合計	100.0	100.0	-	-2.26

(注1) 参考指数は各組入資産のベンチマークを指数化したものに、その資産の基本資産配分を乗じたものの合計を、当初設定日を10,000として指数化した合成インデックスです。

(注2) グラフデータは設定日から基準日までを表示しています。

(注3) 「基準価額騰落貢献度」の「その他」は、信託報酬、基本資産配分比差異効果及び資金流入要因他です。

※合併により、マザーファンド名称が変更となっております。旧マザーファンド名は「住信 国内株式インデックス マザーファンド」「住信 国内債券インデックス マザーファンド」「住信 外国株式インデックス マザーファンド」「住信 外国債券インデックス マザーファンド」です。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
 特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
 各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
 したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド(成長) ST

【特別勘定が投資する投資信託】

マイセレクション50VA1 (適格機関投資家専用)

【運用会社】

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

【投資助言会社】

三井住友信託銀行株式会社

主要投資対象

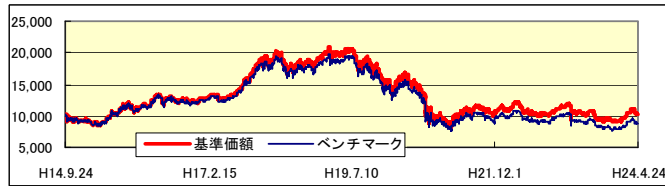
国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、および短期金融資産。主に「国内株式インデックス マザーファンド」、「国内債券インデックス マザーファンド」、「外国株式インデックス マザーファンド」、「外国債券インデックス マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

主に日本を含む世界各国の株式と公社債、および円短期金融商品に分散投資し(基本資産配分: 株式50%、債券45%、短期金融資産5%)、信託財産の安定運用を目指します。

③ 資産(マザーファンド)毎の運用状況

【国内株式】



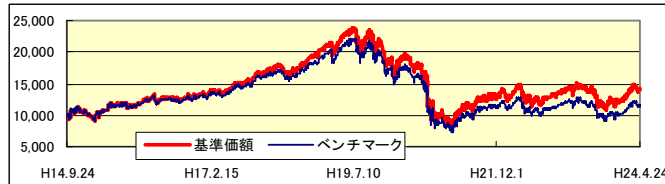
(単位: %)

<騰落率>	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	-5.86	7.64	6.49	-3.42	2.31	2.85
ベンチマーク	-5.86	6.49	5.26	-5.59	-4.00	-12.20
差	0.00	1.16	1.23	2.16	6.31	15.05

<市場の動き>

4月の国内株式相場は大幅に反落しました。スペイン国債の入札が不調であったことなどから欧州債務問題が改めて意識されたことに加え、外国為替相場が円高に振れたことなどから上旬の国内株式相場は大幅に下落しました。3月の米雇用統計が事前予想を大幅に下回ったことや中国の2012年1-3月期GDP成長率の鈍化などが嫌気されたほか、FOMC(米連邦公開市場委員会)や日銀の金融政策決定会合を控え様子見ムードが強まったことで、その後も月末にかけて株式相場は軟調な展開となりました。注目された日銀の金融政策決定会合では資産買入基金の5兆円増額などが発表されたものの、株式相場への影響は限定的でした。日経平均株価は前月末比▲562.67円の9,520.89円で月末を迎え、TOPIX(東証株価指数)の月間騰落率は▲5.86%となりました。

【外国株式】



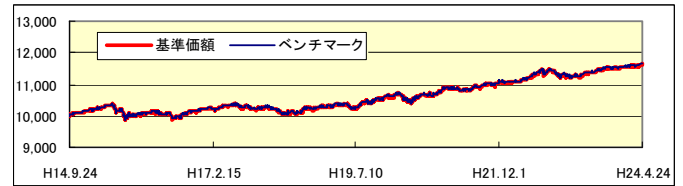
(単位: %)

<騰落率>	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	-1.79	11.87	9.68	-5.17	32.92	42.90
ベンチマーク	-2.36	10.73	10.52	-8.14	24.40	16.38
差	0.57	1.15	-0.84	2.97	8.52	26.52

<市場の動き>

米国株式相場は、月中の下げを月末にかけて取り戻してほぼ横ばいとなりましたが、欧州株式相場は大きく下落しました。欧州では、スペインやイタリアの国債利回りが上昇基調となっており南欧諸国のソブリン債務危機が再燃した他、フランスやオランダの政局不安、ECB(欧州中央銀行)による追加的な資産購入の可能性が薄れたことなどが悪材料となりました。中国の景気減速懸念がくすぶっていることも嫌気されました。一方、米国でFRB(米連邦準備理事会)による追加金融緩和と観測が根強いこと、2012年第1四半期の決算発表が概ね順調であること等は相場のサポート材料となりました。オーストラリアの株式相場は好調な3月の雇用統計、消費者物価上昇率が市場予想以下となったことから利下げ期待が一段と高まったこと等を受けて上昇しました。

【国内債券】



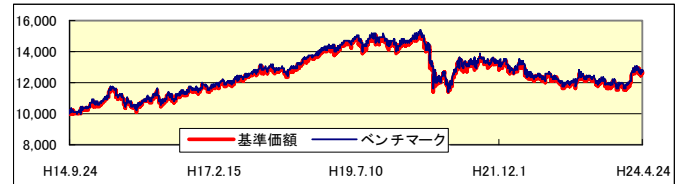
(単位: %)

<騰落率>	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	0.52	0.68	1.50	3.07	7.58	16.50
ベンチマーク	0.52	0.69	1.49	3.07	7.64	16.74
差	0.00	-0.01	0.01	0.00	-0.05	-0.24

<市場の動き>

国内債券相場は上昇(金利は低下)しました。上旬は10年国債入札結果を受けて10年国債の需給に対する警戒感が高まったことや、FRB(米連邦準備理事会)による追加金融緩和期待が後退し米国内債券相場が下落したことから国内債券は売られ、10年国債利回りは一時1.050%まで上昇しました。しかし、その後はスペイン国債入札の不調をきっかけとした欧州債務問題の再燃を受けてリスク回避姿勢が強まったことなどから、国内債券相場は反発に転じました。その後も日銀が月末の金融政策決定会合で追加金融緩和策を打ち出すとの観測が出たことや、世界経済の先行き不透明感が強まったことから相場は一段と上昇し、10年国債利回りは約1年半ぶりの水準となる0.885%まで低下して終了しました。

【外国債券】



(単位: %)

<騰落率>	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	-1.10	7.24	5.16	1.58	-3.25	25.35
ベンチマーク	-1.27	6.95	7.09	1.16	-2.68	24.46
差	0.17	0.28	-1.92	0.43	-0.57	0.88

<市場の動き>

米国10年国債利回りは、月を通して低下する展開となりました。4月の弱い雇用統計等を受けた景況感の悪化や欧州市場への警戒感から買への逃避的な動きがみられたことに加え、下旬にはFRBより追加金融緩和の可能性が示唆されたこともあり、再び2.0%を下回り1.9%台前半へ低下して月を終えました。また、ドイツ10年国債利回りも買への逃避的な動きから低下基調となりました。4月のドイツIfo景況感指数等の経済指標は堅調であるものの、スペインを中心に財政悪化懸念が再燃したことに加え、主要国であるフランスやオランダの政局をめぐる不安感が強まったこともあり、下旬には一時過去最低となる1.6%台前半まで低下しました。結局1.6%台後半で月を終えました。為替市場では、リスク回避傾向の強まりから円が主要通貨に対して買われる展開となりました。米国で予想を下回る経済指標の内容から景気回復期待が後退したことや、欧州で重債務国に対する懸念や政局不安が強まったことを受けて、米ドル/円相場は80円台前半まで、ユーロ/円相場は104円台前半まで下落しました。しかし半月以降は日銀が追加金融緩和に踏み切るとの見方から円がやや売られ、結局、米ドル/円相場は81円台前半で、ユーロ/円相場は107円台前半で月を終えました。

<各資産のベンチマーク(グラフはマイセレクション50VA1の当初設定日を10,000として指数化し、設定日から基準日までを表示。)>

国内株式: 東証株価指数(TOPIX) 外国株式: MSCIロクサイ・インデックス(除く日本、円ベース)
国内債券: NOMURA-BPI 総合 外国債券: シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
特別勘定の運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド(積極) ST

【特別勘定が投資する投資信託】
マイセレクション75VA1(適格機関投資家専用)
【運用会社】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
【投資助言会社】
三井住友信託銀行株式会社

主要投資対象

国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、および短期金融資産。主に「国内株式インデックス マザーファンド」、「国内債券インデックス マザーファンド」、「外国株式インデックス マザーファンド」、「外国債券インデックス マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

主に日本を含む世界各国の株式と公社債、および円短期金融商品に分散投資し(基本資産配分:株式75%、債券22%、短期金融資産3%)、信託財産の安定運用を目指します。

※平成24年4月1日より、特別勘定が投資する投資信託名・運用会社名・投資助言会社名が変更となりました。

旧投資信託名: すみしん マイセレクション75VA1(適格機関投資家専用)、旧運用会社名: 住信アセットマネジメント株式会社、旧投資助言会社名: 住友信託銀行株式会社

平成24年4月27日現在

①当月末基準価額

基準価額	既払分配金(課税前)	純資産総額
11,506 円	0 円	505 百万円

②当ファンドの運用状況



(単位: %)

【騰落率】	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
当ファンド	-3.50	7.07	5.80	-2.59	9.63	15.06
参考指数	-3.50	6.46	6.00	-3.92	6.05	5.91
差	0.00	0.61	-0.20	1.33	3.58	9.15

【資産構成比と基準価額貢献度(月次)】

(単位: %)

資産	月末時価 構成比	基本 資産配分	差	基準価額 騰落貢献度
国内株式	50.0	50.0	0.0	-2.93
国内債券	16.3	17.0	-0.7	0.09
外国株式	26.1	25.0	1.1	-0.45
外国債券	4.9	5.0	-0.1	-0.05
その他	2.7	3.0	-0.3	-0.15
合計	100.0	100.0	-	-3.50

(注1) 参考指数は各組入資産のベンチマークを指数化したものに、その資産の基本資産配分を乗じたものの合計を、当初設定日を10,000として指数化した合成インデックスです。

(注2) グラフデータは設定日から基準日までを表示しています。

(注3) 「基準価額騰落貢献度」の「その他」は、信託報酬、基本資産配分比率差異効果及び資金流入要因他です。

※合併により、マザーファンド名称が変更となっております。旧マザーファンド名は「住信 国内株式インデックス マザーファンド」「住信 国内債券インデックス マザーファンド」「住信 外国株式インデックス マザーファンド」「住信 外国債券インデックス マザーファンド」です。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界バランスファンド(積極) ST

【特別勘定が投資する投資信託】

マイセレクション75VA1 (適格機関投資家専用)

【運用会社】

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

【投資助言会社】

三井住友信託銀行株式会社

主要投資対象

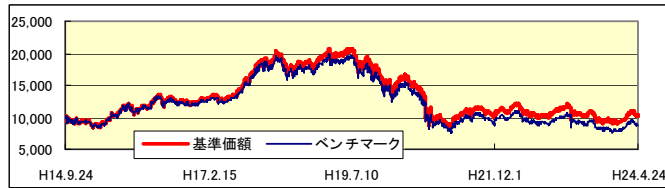
国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、および短期金融資産。主に「国内株式インデックス マザーファンド」、「国内債券インデックス マザーファンド」、「外国株式インデックス マザーファンド」、「外国債券インデックス マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

主に日本を含む世界各国の株式と公社債、および円短期金融商品に分散投資し(基本資産配分: 株式75%、債券22%、短期金融資産3%)、信託財産の安定運用を目指します。

③ 資産(マザーファンド)毎の運用状況

【国内株式】



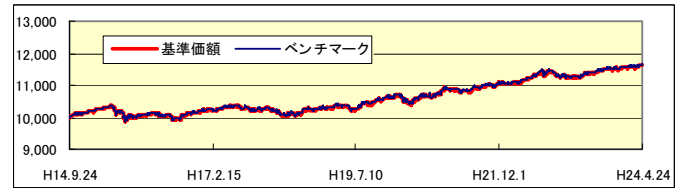
(単位: %)

<騰落率>	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	-5.86	7.64	6.49	-3.42	2.31	2.85
ベンチマーク	-5.86	6.49	5.26	-5.59	-4.00	-12.20
差	0.00	1.16	1.23	2.16	6.31	15.05

<市場の動き>

4月の国内株式相場は大幅に反落しました。スペイン国債の入札が不調であったことなどから欧州債務問題が改めて意識されたことに加え、外国為替相場が円高に振れたことなどから上旬の国内株式相場は大幅に下落しました。3月の米雇用統計が事前予想を大幅に下回ったことや中国の2012年1-3月期GDP成長率の鈍化などが嫌気されたほか、FOMC(米連邦公開市場委員会)や日銀の金融政策決定会合を控え様子見ムードが強まったことで、その後も月末にかけて株式相場は軟調な展開となりました。注目された日銀の金融政策決定会合では資産買入基金の5兆円増額などが発表されたものの、株式相場への影響は限定的でした。日経平均株価は前月末比▲562.67円の9,520.89円で月末を迎え、TOPIX(東証株価指数)の月間騰落率は▲5.86%となりました。

【国内債券】



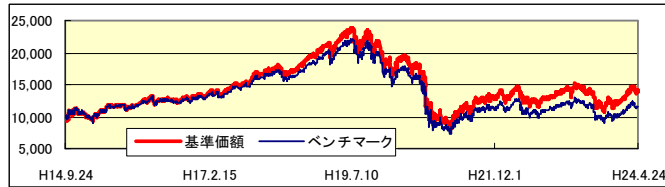
(単位: %)

<騰落率>	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	0.52	0.68	1.50	3.07	7.58	16.50
ベンチマーク	0.52	0.69	1.49	3.07	7.64	16.74
差	0.00	-0.01	0.01	0.00	-0.05	-0.24

<市場の動き>

国内債券相場は上昇(金利は低下)しました。上旬は10年国債入札結果を受けて10年国債の需給に対する警戒感が高まったことや、FRB(米連邦準備理事会)による追加金融緩和期待が後退し米債券相場が下落したことから国内債券は売られ、10年国債利回りは一時1.050%まで上昇しました。しかし、その後はスペイン国債入札の不調をきっかけとした欧州債務問題の再燃を受けてリスク回避姿勢が強まったことなどから、国内債券相場は反発に転じました。その後も日銀が月末の金融政策決定会合で追加金融緩和策を打ち出すとの観測が出たことや、世界経済の先行き不透明感が強まったことから相場は一段と上昇し、10年国債利回りは約1年半ぶりの水準となる0.885%まで低下して終了しました。

【外国株式】



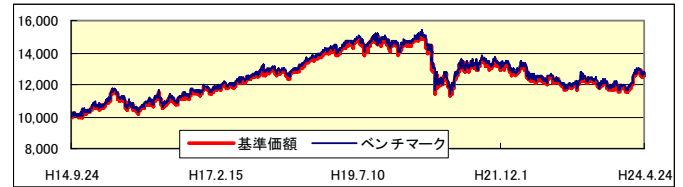
(単位: %)

<騰落率>	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	-1.79	11.87	9.68	-5.17	32.92	42.90
ベンチマーク	-2.36	10.73	10.52	-8.14	24.40	16.38
差	0.57	1.15	-0.84	2.97	8.52	26.52

<市場の動き>

米国株式相場は、月中の下げを月末にかけて取り戻してほぼ横ばいとなりましたが、欧州株式相場は大きく下落しました。欧州では、スペインやイタリアの国債利回りが上昇基調となっており南欧諸国のソブリン債務危機が再燃した他、フランスやオランダの政局不安、ECB(欧州中央銀行)による追加的な資産購入の可能性が薄れたことなどが悪材料となりました。中国の景気減速懸念がくすぶっていることも嫌気されました。一方、米国でFRB(米連邦準備理事会)による追加金融緩和観測が根強いこと、2012年第1四半期の決算発表が概ね順調であること等は相場のサポート材料となりました。オーストラリアの株式相場は好調な3月の雇用統計、消費者物価上昇率が市場予想以下となったことから利下げ期待が一段と高まったこと等を受けて上昇しました。

【外国債券】



(単位: %)

<騰落率>	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	-1.10	7.24	5.16	1.58	-3.25	25.35
ベンチマーク	-1.27	6.95	7.09	1.16	-2.68	24.46
差	0.17	0.28	-1.92	0.43	-0.57	0.88

<市場の動き>

米国10年国債利回りは、月を通して低下する展開となりました。4月の弱い雇用統計等を受けた景況感の悪化や欧州市場への警戒感から買への逃避的な動きがみられたことに加え、下旬にはFRBより追加金融緩和の可能性が示唆されたこともあり、再び2.0%を下回り1.9%台前半へ低下して月を終えました。また、ドイツ10年国債利回りも買への逃避的な動きから低下基調となりました。4月のドイツIfo景況感指数等の経済指標は堅調であるものの、スペインを中心に財政悪化懸念が再燃したことに加え、主要国であるフランスやオランダの政局をめぐる不安感が強まったこともあり、下旬には一時過去最低となる1.6%台前半まで低下しました。結局1.6%台後半で月を終えました。為替市場では、リスク回避傾向の強まりから円が主要通貨に対して買われる展開となりました。米国で予想を下回る経済指標の内容から景気回復期待が後退したことや、欧州で重債務国に対する懸念や政局不安が強まったことを受けて、米ドル/円相場は80円台前半まで、ユーロ/円相場は104円台前半まで下落しました。しかし半月以降は日銀が追加金融緩和に踏み切るとの見方から円がやや売られ、結局、米ドル/円相場は81円台前半で、ユーロ/円相場は107円台前半で月を終えました。

<各資産のベンチマーク(グラフはマイセレクション75VA1の当初設定日を10,000として指数化し、設定日から基準日までを表示。)>

国内株式: 東証株価指数(TOPIX) 外国株式: MSCIコクサイ・インデックス(除く日本、円ベース)
国内債券: NOMURA-BPI 総合 外国債券: シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
特別勘定の運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
世界バランスファンド PT

【特別勘定が投資する投資信託】
ビクテ・グローバル・バランス・オープンVA-C(適格機関投資家専用)
【運用会社】
ビクテ投資信託顧問株式会社
【運用再委託会社】
ビクテ・アセット・マネジメント・リミテッド

主要投資対象

外国株式、外国債券、国内株式、国内債券。主にビクテ・グローバル・バランス・オープン・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

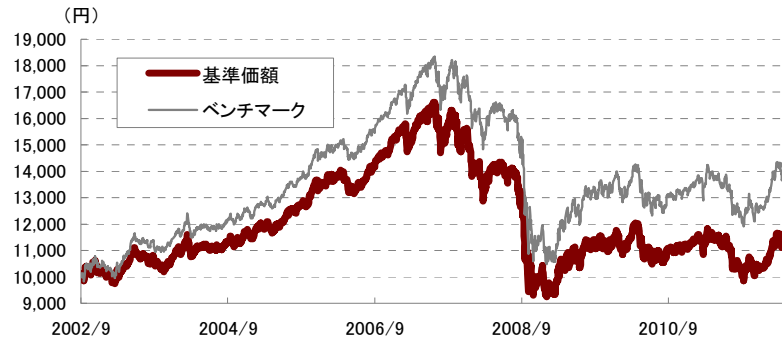
主に日本を含む先進各国の株式および公社債に分散投資(基本資産配分:株式50%、債券50%)することによって中長期的信託財産の安定的な成長を目指します。収益性と安定性をバランスよく追求します。

《ファンドの状況》

(2012年4月27日現在)

基準価額(設定時)	11.378円 (10.000円)	純資産総額	1.278百万円
設定来高値	16.606円 (07/7/13)	設定来安値	9.239円 (09/1/26)
設定日	2002年9月25日	決算日	原則毎年4月20日

《設定来の基準価額の推移》



※基準価額は信託報酬(純資産総額の年1.2285%(税抜1.17%)等控除後)。※当ファンドのベンチマークはMSCI世界株債指数(円ベース、配当再投資)50%+シティグループ世界国債指数(円ベース)50%です。グラフのベンチマークはファンドの設定日を10,000として指数化して表示しています。

《基準価額の騰落率》

	1ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.91	5.68	-2.66	8.14	13.78
ベンチマーク	-1.01	6.19	-0.07	15.78	39.69
超過収益	0.10	-0.51	-2.60	-7.64	-25.91

(注)上記の騰落率は、実際の投資家利回りと異なります。また、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

《信託財産構成比》

	2012/4/27	2012/3/30
株式	45.5	45.8
米国	25.9	26.4
日本	3.6	3.5
スイス	3.1	3.1
英国	2.5	2.4
中国	2.4	2.3
フランス	2.0	2.1
香港	1.4	1.4
ドイツ	1.1	1.2
オランダ	1.0	0.9
ブラジル	0.6	0.6
その他	1.7	1.7
債券	53.0	53.1
日本	18.8	17.9
米国	15.7	16.3
ドイツ	7.4	7.4
イタリア	3.2	3.3
フランス	3.1	3.1
その他	4.8	5.2
コール・ローン等、その他	1.5	1.1

※信託財産構成比は、マザーファンドの資産内容で、構成比は実質の比率を表示しております。小数点第2位を四捨五入していますので合計が一致しない場合があります。

【マーケット概況】

<世界の株式市場> MSCI世界株債指数(現地通貨ベース)は月間で1.3%の下落となりました。米国の追加金融緩和と観測の後退やスペインの財政赤字に対する懸念などから下落して始まりました。その後も、3月の米雇用統計が市場予想を下回ったことや中国の経済成長が鈍化したことなどが嫌気され続落する展開となりました。月末にかけては、米格付け会社によるスペイン国債の格下げに加えて、フランスやオランダで政局をめぐる先行き不透明感が強まり、株式市場は弱含みで推移しました。

<世界の国債市場> シティグループ世界国債指数(現地通貨ベース)は、前月末比0.5%の上昇(利回りは低下)となりました。米国の追加金融緩和期待が後退したことから一時市場は下落(利回りは上昇)しました。しかし、3月の米雇用統計が市場予想を下回ったことやユーロ圏の景況感指数の低迷を受けた景気回復期待の後退、スペインの財政不安、フランスおよびオランダでの政局の不透明感などを背景として、リスク回避姿勢が強まり、国債市場は上昇しました。

<為替市場> ドル・円為替市場は、前月末比1円円高・ドル安の81円19銭となりました。月初は、軟調な3月の米雇用統計や日本の経常収支の黒字化などを背景に円高・ドル安となりました。その後、日銀の金融緩和期待を受けて一時的に円安・ドル高となりましたが、フランスやオランダの政局不安などが嫌気され、再び円高・ドル安となりました。ユーロ・円為替市場は、前月末比2円56銭円高・ユーロ安の107円24銭となりました。独Ifx景況感指数の改善や好調なフランス国債の入札結果を受けて一時的に円安・ユーロ高となる場面もありましたが、スペイン国債の入札が低調だったことや、フランスとオランダの政局不安などを背景に欧州債務問題が再燃し、円高・ユーロ安となりました。

【運用概況】

4月末時点の組入状況は、引き続き株式のアンダーウェイト(ベンチマークより低い投資比率)を維持しました。北米および欧州債券の組入比率を引き下げた一方、日本債券の組入比率を引き上げました。当月の基準価額に対しては、債券がプラス要因となる一方、株式、為替はマイナス要因となりました。

【今後のポイント】

世界経済のけん引役である米国では、自律的な経済成長を達成するための支出を行う余地が縮小しており、向こう数四半期の経済成長は投資家の失望を誘う内容になると考えられます。このような環境下、世界経済や株式市場の先行きは引き続き不透明と考え、株式のアンダーウェイトを継続する方針です。

※当コメントの内容は作成日現在のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により、上記の運用方針が変更される場合があります。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
世界バランスファンド PT

【特別勘定が投資する投資信託】
ビクテ・グローバル・バランス・オープンVA-C (適格機関投資家専用)
【運用会社】
ビクテ投信投資顧問株式会社
【運用再委託会社】
ビクテ・アセット・マネジメント・リミテッド

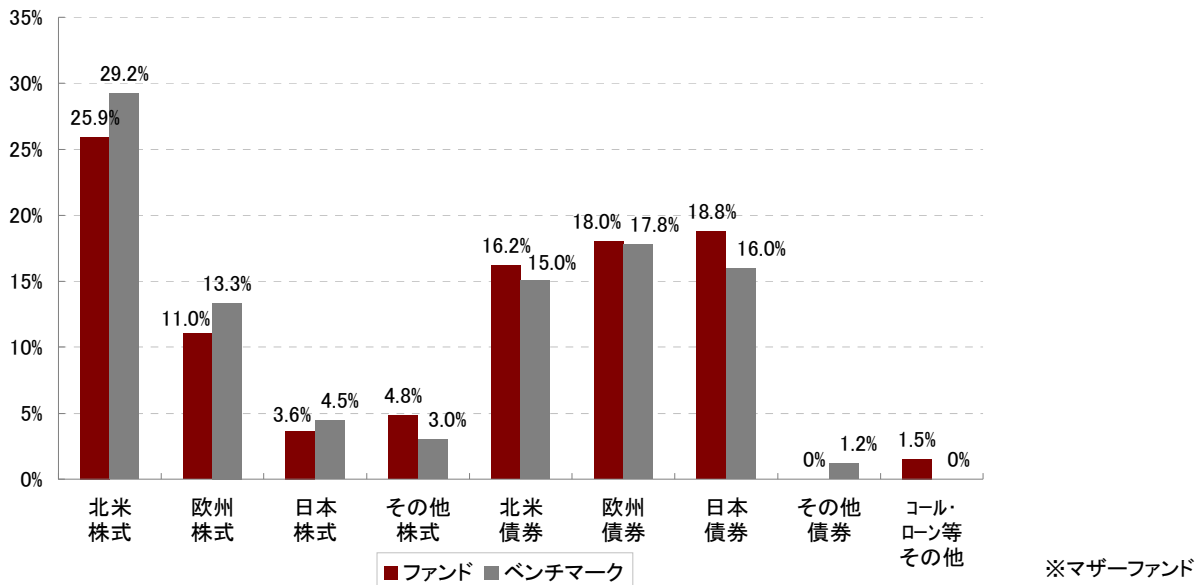
主要投資対象

外国株式、外国債券、国内株式、国内債券。主にビクテ・グローバル・バランス・オープン・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

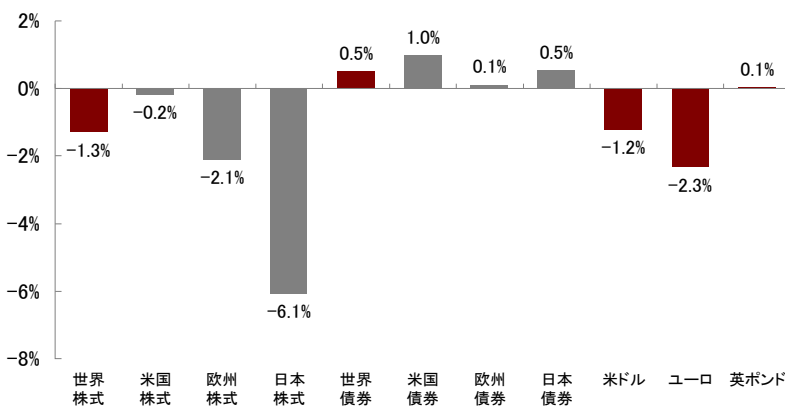
運用方針

主に日本を含む先進各国の株式および公社債に分散投資(基本資産配分:株式50%、債券50%)することによって中長期的信託財産の安定的な成長を目指します。収益性と安定性をバランスよく追求します。

資産別ポートフォリオとベンチマーク



当月の世界市場の動き(現地通貨ベース)



(株式:MSCI地域別/国別指数、国債:シティグループ地域別/国別指数、為替レート:対顧客電信売相場の仲値)

基準価額変動要因分析

3月末基準価額 11,482円
4月末基準価額 11,378円
月間騰落額 -104円

(単位:円)

	株式	債券	為替	計
北米	-9	+22	-63	-49
欧州	+3	+9	-61	-49
日本	-14	+15	--	+1
その他	+12	--	-4	+7
計	-9	+47	-128	-90

* 信託報酬、他 -14

※ 小数点以下を四捨五入していますので合計が一致しない場合があります。

※当資料における実績は、税金控除前であり、実際の投資者利回りとは異なります。また、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。※当資料の図表で使用したデータの出所は次の通りです。○ベンチマーク:ブルームバーグ、ビクテ・アセット・マネジメント・リミテッドおよびCitigroup, Fixed Income Direct Japanのデータを基にビクテ投信投資顧問作成。○MSCI各種指数、シティグループ各種指数:ブルームバーグ ○為替レート:社団法人投資信託協会 ※当資料で使用したMSCI指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

・当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
マネーファンド MB

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ MRF(マネー・リザーブ・ファンド)

【運用会社】
三菱UFJ投信株式会社

主要投資対象

国内外の公社債、CP等の短期金融商品。

運用方針

内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保を目指します。投資対象とする有価証券は信用度が高く、残存期間が短いものとします。外貨建資産への投資については、円貨で約定・決済するもの(為替リスクの生じないもの)に限ります。

【資産構成】

2012年04月27日 現在

項目	評価金額(円)	組入比率(%)
公社債	186,972,016,121	63.31
(うち固定債)	(186,972,016,121)	63.31
(うち変動利付債)	(0)	0.00
短期金融商品	108,346,001,076	36.69
(うちコールローン他)	(78,348,101,076)	26.53
(うちCD)	(0)	0.00
(うちCP)	(0)	0.00
(うち現先)	(29,997,900,000)	10.16
純資産総額	295,318,017,197	100.00

【基準価額】

基準価額	10,000円
------	---------

(注1) 固定債：変動利付債以外の債券
(注2) 比率は経過利子等を債券時価に含まず算出しております。

【債券平均利率・平均残存年数】

平均利率	0.000%	平均残存年数	0.150年
------	--------	--------	--------

(注) 平均利率、平均残存年数の計算方法について
・平均利率(%)：各債券のクーポンを債券の額面で加重平均したもの
・平均残存年数(年)：各債券の残存年数を債券の額面で加重平均したもの
変動利付債の残存年数は、次回利払日までとして計算しています。

【国内(邦貨建)公社債(新株予約権付社債(転換社債)を除く)明細表】

	額面金額(円)	評価金額(円)	残存期間別組入比率				
			1年未満	1年以上	2年以上	5年以上	合計
国債	187,000,000,000	186,972,016,121	63.31%	0.00%	0.00%	0.00%	63.31%
地方債	0	0	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
特殊債	0	0	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
金融債	0	0	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
普通社債	0	0	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
合計	187,000,000,000	186,972,016,121	63.31%	0.00%	0.00%	0.00%	63.31%

(注1) 組入比率は純資産ベース
(注2) 特殊債とは公社、公団、公庫等の政府関係機関等、いわゆる特殊法人や特殊団体が特別の法律に基づいて発行する債券の総称です。

【債券の格付分布】

格付種類	比率
AAA格	0.00%
AA格	63.31%
A格	0.00%
BBB格	0.00%
BB格以下	0.00%
無格付	0.00%
合計	63.31%

【短期金融商品(CP・CD)の格付分布】

格付種類	比率
A-1格	0.00%
A-2格	0.00%
A-3格	0.00%
合計	0.00%

比率は純資産総額に対する割合です。
債券の格付の振分基準は以下の通りです。
・AA格(AA+, AA, AA-, Aa1, Aa2, Aa3)
・A格(A+, A, A-, A1, A2, A3)
・BBB格(BBB+, BBB, BBB-, Baa1, Baa2, Baa3)
・BB格(BB+, BB, BB-, Ba1, Ba2, Ba3)
CD・CPの格付の振分基準は以下の通りです。
・A-1格(a-1, a-1+, J-1, J-1+, A-1, A-1+, P-1)
・A-2格(a-2, J-2, A-2, P-2)
・A-3格(a-3, J-3, A-3, P-3)
原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付(国の発行体格付)を採用しているものがあります。また日本の金融債については発行体格付を採用しています。
格付分布は、R&I社、JCR社、S&P社、Moody's社のうち最も低い格付を表示しています。

当資料は、ハートフォード生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、ハートフォード生命より提供するものであり、ハートフォード生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。